

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2022年 4月 2日

安全・安定輸送に関する緊急申し入れ 団体交渉

2022年3月29日に申14号団交を行い、ポイントのみ記載します。不明な点等は、連絡を下さい。

1, 2022年2月21日つばさ136号の大沢～峠駅間における取り扱いと指令指示、この間の教育内容について明らかにすること。また、今後の同種事象の取り扱いについて並びに指令からの指示に対する乗務員の判断のあり方を明確にすること。

《回答》 運転再開については、現地の状況等を総合的に勘案し、判断しているところである。

また、引き続き必要な教育は実施していく考えである。

- ・指令の指示も運転士の取扱いも問題はない。(適切である。)
- ・今後は限流値増NFBの取扱いについて、混乱が無いように、MMカット時以外の取扱いについては、条件、区間などを明記の上、マニュアル記載を「検討中」である。(あくまで見込みだが、次期冬期までマニュアルに入れ込む予定ではある)
- ・限流値増NFBの取扱いは、適切な指令の指示がないと(指令の指示のみ)取り扱えない。それ以外の時は、この間通り、限流値増NFBの取扱いは断ってもらってよい。・つばさ新庄折り返し運転時の融雪の在り方についても改善を求めました。

2, 2022年1月21日徳沢駅での事象を踏まえた22日までの除雪難航による遅延・運休、並びに1月22日236Dの鹿と衝突し23日まで遅延・運休が発生した事象を踏まえ、他支社指令との連携の現状と今後の対策についてあれば、明らかにすること。

《回答》異常時対応については、関係個所と協力し対応することとなる。

- ・新潟指令から仙台指令、その後、会津若松運輸区に打電から電報手配になるのでどうしてもタイムタグが生じてしまう。
- ・運転継続困難な際には明確に、困難であるとはっきり申告した方が良い。・改めて、仙台支社から新潟支社への連絡や、運転方法の在り方の再考や管理者への確認を行い、検討することを求めました。

3, 2022年2月21日福島駅構内三河踏切の事象について明確にすること。また、この間の同種発生事象と原因、今後の対策について明らかにすること。

《回答》踏切が正常に動作しなかった事象であるが、以降は同様の事象は発生していない。

なお、関係する機器等の取替えを実施したところである。

- ・原因と考えられる機器、配線も全て取り換えた。・仙台支社内には、351か所同種箇所があるが、過去においても同種事象は発生していない。・対策として、あらゆる可能性はつぶしている。取り得る対策は取っている。
- ・当該踏切においては、一定時間経過すると踏切が上がるルー(列車がいないにもかかわらず踏切動作した際に対応するためのルー)に不具合があったかもしれないので、現在、回路を切っている。・山形新幹線アプローチ工事の影響はない。

4, 2022年4月に行われる左沢線でのイベント内容と対応について明らかにすること。また、変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションについては、この間の労使議論も踏まえ、働きがいあるものとする。

《回答》左沢線においては全線開通100周年を記念し、地域に密着してイベントを実施する。

また、新たなジョブローテーションは、一人ひとりの社員が様々なことに挑戦し、主体性をもって将来の夢や希望につながる業務を経験することで成長していく観点と、安全・安定輸送の確保とお客さまサービスに必要な社員の配置という観点を考慮していく考えである。

- ・就業規則27条の任用の基準を踏まえ、人事異動を行っている。人事異動については任用の基準に基づき実施している。
- ・イベントと人事異動は関係ない。・不安申告には応える。・イベント対応などでは、あらゆる手配を行い、時季変更権の行使はある。フォロー対応は行う。・イベントを知らなかったわけではないが、ステップアップの為に転勤させる場合はある。

以上